

新潟市共通基盤システム概要

■背景

新潟市（以下「本市」という。）では、庁内に分散する情報システムについて、機器の共有化・運用の統合化等を行い、情報システムを安価で効率的なものに再構築(いわゆる最適化)を進め、情報システムの維持コスト縮減や業務効率化を図ってきました。

現在、物理サーバを共有した仮想サーバ環境をはじめ、統合運用環境やデータ連携機能などを集約して、共通基盤システムとして運用中です。

現在の共通基盤システムは、平成28年頃から徐々に構築を進めて、令和4年度末までにひとつおりの整備を終えたところです。

一方、昨今のシステム標準化など、状況の変化も発生しています。標準化では、共通基盤システム上で稼働している住民記録システムや税システムなど、基幹系と呼ばれているシステムの多くが、国が進めるクラウド（ガバメントクラウド（ガバクラ））環境へ移行する見込みです。

本市では、標準化後を見据えて、今後の共通基盤システムの検討を始めたところです。庁内における、今後の共通基盤システムのニーズ調査を踏まえると、現時点においては、引き続き同様のシステムを運用することが望ましいと考えています。

■次期データ連携機能に求めたいこと

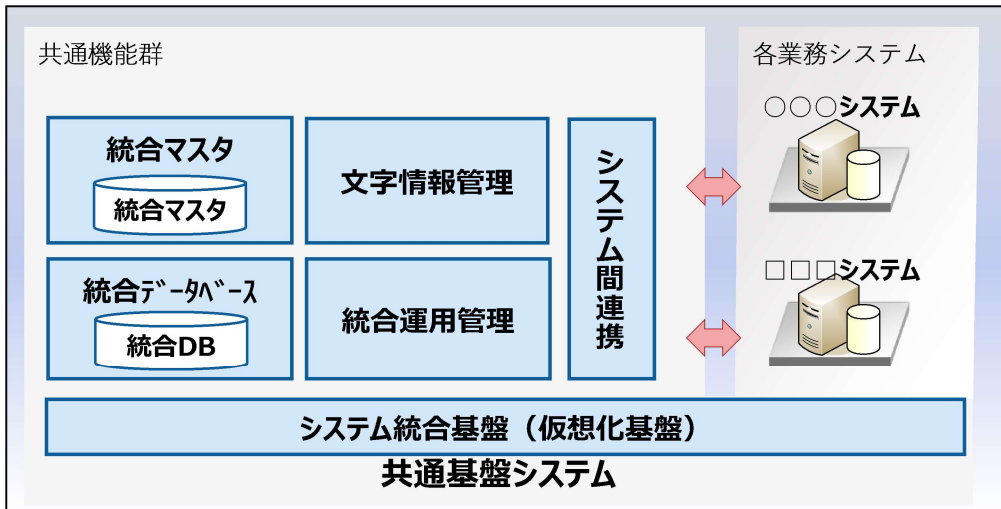
- ・ 現行の共通基盤システム(データ連携機能含む)のサポート期限と想定している令和10(2028)年3月末までに、次期データ連携基盤の構築、及びデータ連携を使用するシステムが次期データ連携基盤に移行し運用開始できるようになること。（構築完了は令和10(2028)年3月末よりも前のタイミングを想定）
- ・ 現行のデータ連携機能が備える、システム間連携基盤、文字情報管理基盤、統合データベース基盤などと同等の機能がなるべく網羅されること。現在のデータ連携に関する主な機能は「ベースとする機能、運用要件」をご参照ください。

■ご提供いただきたい情報

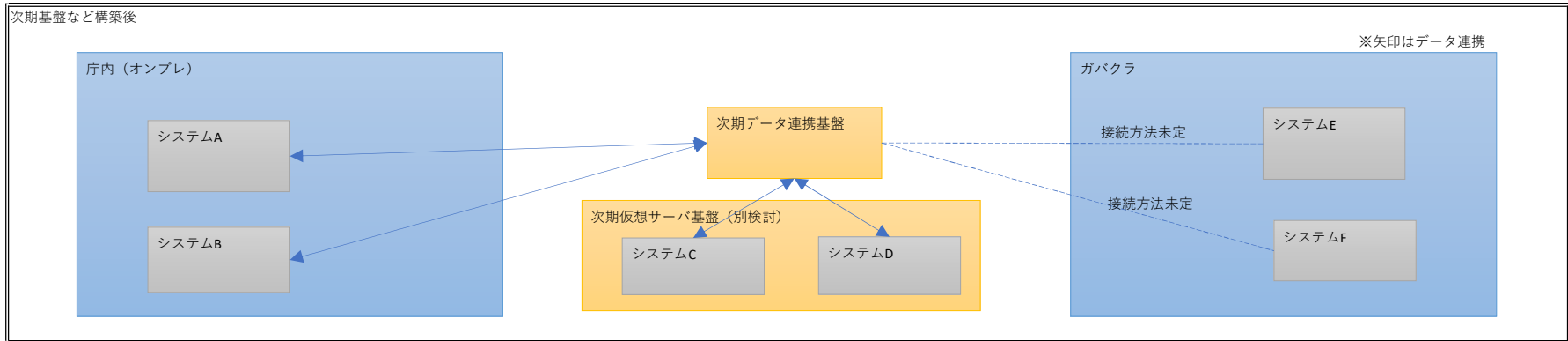
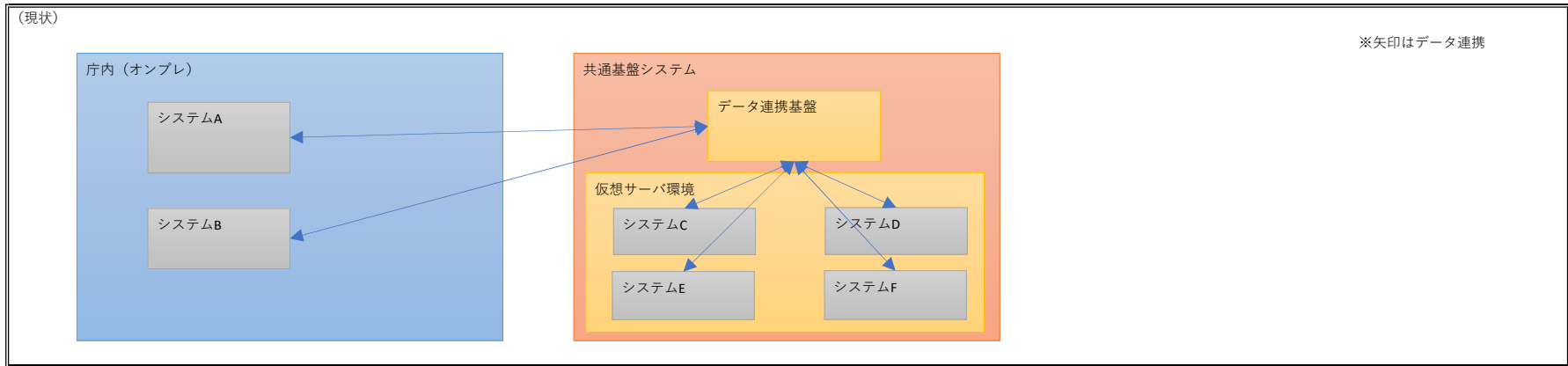
- ・ 本市への提案について
- ・ 想定スケジュール

※全ての項目についての回答が難しいようでしたら、いただける範囲で結構ですので、情報提供をお願いします。

■現在の共通基盤システム構成



■共通基盤システムを含めた各システムの間連イメージ
現時点でのイメージです。



<参考> ベースとする機能、運用要件

機能名		機能詳細	現状の課題・懸案・コメント	運用
システム間連携基盤	ファイル連携機能	データ提供する業務システム側にて連携ファイルを準備し、システム間連携基盤へ連携ファイルを登録することで、データ利用する業務システムが連携ファイルを受け取る データ送信/データ受信時に利用する通信方式は、FTP or SOAP or HTTP。		<ul style="list-style-type: none"> データ連携ジョブの時間変更 手動でのデータ連携
	文字コード変換機能	業務システム毎に使用している文字コードが異なるため、連携ファイルの文字コード変換を要する。 下記に示す文字コード変換を行うことが出来る。 <ul style="list-style-type: none"> Unicode (FUJ明朝) JIS2004 (MS明朝) SJIS EUC@EUC_JP JEF_ASCII JEF_KANA 	システム標準化により、行政事務標準文字の整備が進んでいるため、現在の文字コード変換に加えて行政事務標準文字との変換も考慮する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> 文字コード変換ジョブの追加
文字情報管理基盤	外字配信機能	文字情報管理サーバより業務システムクライアントと業務システム業務サーバへ外字配信を行う <ul style="list-style-type: none"> 外字ファイルをエージェントソフトにより配信 手動による外字フォントファイル(TTE形式)の適用 	システム標準化により、既存外字における行政事務標準文字への同定作業を実施する想定。文字同定後の外字の運用については検討が必要。	<ul style="list-style-type: none"> 外字作成
	文字コード変換表の提供	以下の文字コードの相互の変換表を提供。 <ul style="list-style-type: none"> JIS2004 (MS明朝) JEF Unicode (FUJ明朝) 	システム標準化により、行政事務標準文字の整備が進んでいるため、現在の文字コード変換に加えて行政事務標準文字との変換も考慮する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> 文字コード変換
統合データベース基盤	データ取得	現在はデータベースはPostgreSQLによって構築している。 データ操作(読み書き)のためのパラメタ情報を業務システム側から受け取り、パラメタに従ったデータ操作を行い、連携データなどの授受を行う。		<ul style="list-style-type: none"> データ連携ジョブの時間変更 手動でのデータ連携
	統合マスタ基盤	基幹系クライアントPCより統合データベースへ各種マスタデータ(住所、自治体住所、金融機関など)を登録できる。		
その他				<ul style="list-style-type: none"> 運用計画作成 定例会 インシデント管理、対処 各種ジョブの動作監視 庁内研修補助 各種障害対応